



**PUBLIC (公開)**

SAP BusinessObjects Business Intelligence Suite

ドキュメントバージョン: 4.2 Support Package 9 – 2021-04-29

# **SAP BusinessObjects Web Intelligence Interactive** ビューアユーザガイド

# 目次

<b>1</b>	<b>ドキュメント履歴.....</b>	<b>4</b>
<b>2</b>	<b>Web Intelligence Interactive ビューアの概要.....</b>	<b>5</b>
<b>3</b>	<b>Web Intelligence Interactive ビューアの概要.....</b>	<b>6</b>
<b>4</b>	<b>Web Intelligence Interactive ビューア入門.....</b>	<b>7</b>
4.1	Web Intelligence Interactive ビューアでのドキュメントおよびレポートの管理.....	7
	ドキュメントを開く.....	7
	開いているドキュメントを切り替える.....	8
	レポートを切り替える.....	8
	ドキュメントを最新表示する.....	9
	[自動最新表示] モード.....	10
	ドキュメントでチャートアニメーションを切り替える.....	10
	レポートを編集する.....	11
	レポートをエクスポートする.....	11
	ドキュメントを送信する.....	12
<b>5</b>	<b>Web Intelligence Interactive ビューアでのデータの参照.....</b>	<b>13</b>
5.1	データ調査の概念.....	13
	値の一覧.....	13
	ナビゲーションマップ.....	14
	[フィルタ] メニュー.....	15
	データの操作.....	16
	アクションの取り消しまたはやり直し.....	17
	要素リンクを含むレポート.....	18
5.2	プロンプトへの回答.....	18
	プロンプトバリエーション.....	19
	プロンプトの設定.....	19
	プロンプト設定にアクセスする.....	20
5.3	レポート要素の折りたたみと展開.....	20
	レポート要素を折りたたむ/展開する.....	21
5.4	階層データの折りたたみおよび展開.....	21
	階層データを展開する/折りたたむ.....	22
5.5	レポートデータのコメント作成.....	22
	レポート内のコメントを表示する.....	23
	レポートにコメントを追加する.....	23
	レポート内のコメントを編集する.....	23

	レポート内のコメントを削除する.....	23
<b>6</b>	<b>Web Intelligence Interactive</b> ビューアでのフィルタリング.....	<b>25</b>
6.1	入力コントロール.....	25
	入力コントロールの値を選択する.....	27
	入力コントロールの値を編集する.....	27
	入力コントロールの値をリセットする.....	27
	フィルタパスを登録する.....	27
	入力コントロールをフィルタパスに追加する.....	28
	フィルタパスから入力コントロールフィルタを削除する.....	28
6.2	要素リンク.....	28
6.3	ドリル.....	29
	ドリルパスに従ったドリル.....	30
	ドリルを有効にする.....	31
	[フィルタ]メニューからディメンションをドリルする.....	31
	レポート要素からディメンションをドリルする.....	31
	ドリルフィルタを編集またはリセットする.....	32
	ドリルフィルタを削除する.....	32
<b>7</b>	<b>Web Intelligence</b> インタラクティブビューアでのデータの整理.....	<b>33</b>
7.1	順位.....	33
	クイック順位を作成する.....	35
	順位を作成する.....	35
	順位を編集する.....	35
	順位を削除する.....	36
7.2	並べ替え.....	36
	レポートブロックに並べ替えを追加する.....	37
	特定のフィールドに並べ替えを追加する.....	38
	レポートブロックから1つまたはすべての並べ替えを削除する.....	38
	特定のフィールドから並べ替えを削除する.....	38
	並べ替えの優先度を管理する.....	39

# 1 ドキュメント履歴

下の表は、最も重要なドキュメント変更の概要です。

バージョン	日付	新機能
SAP BusinessObjects Web Intelligence Interactive ビューア 4.2 サポートパッケージ 4	2017 年 5 月	このドキュメントの初版です。
SAP BusinessObjects Web Intelligence Interactive ビューア 4.2 サポートパッケージ 5	2017 年 12 月	<a href="#">Web Intelligence Interactive ビューア 4.2 SP5 の新機能</a>
SAP BusinessObjects Web Intelligence Interactive ビューア 4.2 サポートパッケージ 6	2018 年 7 月	<a href="#">Web Intelligence Interactive ビューア 4.2 SP6 の新機能</a>
SAP BusinessObjects Web Intelligence Interactive ビューア 4.2 サポートパッケージ 7	2019 年 2 月	4.2 SP7 リリースは機能の安定化に注力しており、ドキュメントへの変更はありません。
SAP BusinessObjects Web Intelligence Interactive ビューア 4.2 サポートパッケージ 8	2020 年 2 月	4.2 SP8 リリースは機能の安定化に注力しており、ドキュメントへの変更はありません。


## 2 Web Intelligence Interactive ビューアの概要

Web Intelligence Interactive ビューアは Web Intelligence の現代版であり、これにより新しい方法でドキュメントおよびレポートを調べることができます。

これらの機能は、シームレスなユーザエクスペリエンスを促進し、ユーザが容易に習得できるように別々に設計

されています。ドキュメントでデータを調べるか、 メニューの詳細オプションを使用して簡単なタスクを実行し、データを整理することができます。

詳細オプションには、順位、並べ替え、折りたたみ、およびドリルの機能によって、情報の整理に関する多くの可能性が提供されています。

Web Intelligence の **[デザイン]** モードでのみ利用可能なタスクを実行するには、**[その他]**  メニューの **[Designer で開く]** オプションをクリックして、いつでも従来の Web Intelligence クライアントに切り替えることができます。

### 相違点

再設計されたユーザエクスペリエンスが提供され、Web Intelligence の **[読み取り]** モードと同じ機能に加えて、ドキュメントおよびレポート内のデータとの高度なやり取りに役立つ追加機能が含まれています。

### 対象者

レポートを使用してデータを分析し、それに基づいてビジネス上の決定を行う場合やレポートを設計するのではなく、単に調べて若干の微調整を行う必要がある場合、そのユーザは、Web Intelligence Interactive ビューアの対象者です。Web Intelligence Interactive ビューアに本質的に備わっている高い応答性により、出先で作業を行う場合に簡単に使用することができます。

### BI ラウンチパッドの概要

Web Intelligence Interactive ビューアは BI ラウンチパッドにスムーズに統合され、そのインターフェースも再設計されました。BI ラウンチパッドの新しいインターフェースを使用して資産をブラウズし、新しいビューアで使うことができるようになりました。

### 3 Web Intelligence Interactive ビューアの概要

Web Intelligence Interactive ビューアを使用すると、Web Intelligence ドキュメントおよびレポートを、デスクトップコンピュータやタブレットなどの任意のデバイスで簡単に確認および分析することができます。

レポートを移動し、必要なデータに焦点を当て、データにコメントを追加して、データを確認します。

フィルタリング機能を使用して、ビジネスクエスチョンに対する回答を取得したり、業務ニーズに応じてドキュメントやレポートをカスタマイズしたりします。

Web Intelligence Interactive ビューアでは、以下が可能です。

- データでの移動
- 折りたたみアクションを使用したデータの表示/非表示
- 階層データのさまざまなレベルへの注目
- ドリルフィルタ、入力コントロール、および要素リンクを使用したフィルタリング
- 順位および並べ替えを使用したデータの整列

Web Intelligence Interactive ビューアで作業するレポートデザイナーは、テーブルの編集からレポートデザイン全体のオーバーホールまで、いつでも変更することができます。数クリックまたはタップで Web Intelligence の [\[デザイン\]](#) に移動することができます。

## 4 Web Intelligence Interactive ビューア入門

Web Intelligence Interactive ビューアでドキュメントおよびレポートを表示するには、BI ラUNCHパッドでドキュメントを参照しておく必要があります。BI ラUNCHパッドにログインすると、[マイホーム] ページが表示されます。このページには、最新のドキュメントおよび最もよく使用されるドキュメントがすべて含まれています。

Web Intelligence ドキュメントはすべて [フォルダ] タブの下に一覧表示され、ここで参照および管理することができます。

### ① 注記

BI ラUNCHパッドの URL は、`http://<WebServer>:<PortNumber>/BOE/BILaunchpad/` となります。ここで、<WebServer> は BI プラットフォームの Web サーバ名、<PortNumber> は Web サーバのポート番号です。

BI ラUNCHパッドの詳細については、*Business Intelligence* ラUNCHパッドユーザガイドを参照してください。

### 4.1 Web Intelligence Interactive ビューアでのドキュメントおよびレポートの管理

以下のセクションで、ドキュメントおよびレポートの管理方法を説明します。

#### 4.1.1 ドキュメントを開く

通常、ドキュメントは Fiori 対応 BI ラUNCHパッドから一元的に管理し、開きます。ドキュメントは Web Intelligence Interactive ビューアで開きます。

Web Intelligence Interactive ビューアは、Web Intelligence が BI ラUNCHパッドと連携する方法と同じ方法で、Fiori 対応 BI ラUNCHパッドによって補強されます。

OpenDocument 機能を使用する同僚からドキュメントへの直接リンクを受信する場合があります。リンクの設定方法に応じて、ドキュメントは Web Intelligence Interactive ビューアまたは HTML クライアントで開きます。

### ① 注記

Web Intelligence Interactive ビューアで OpenDocument リンクから直接 Java クライアントを開くことはできません。

## 関連情報

[ドキュメントを開く \[8 ページ\]](#)

### 4.1.1.1 ドキュメントを開く

新しい BI ラウンチパッドから Web Intelligence Interactive ビューアで 1 つ以上のドキュメントを開くことができます。

1. 認証情報を使用して BI ラウンチパッドにログオンします。
2. [\[フォルダ\]](#) をクリックまたはタップして、ドキュメントを参照します。
3. ドキュメントをクリックまたはタップして開きます。省略記号をクリックまたはタップして、[\[表示\]](#) を選択することもできます。

#### → ヒント

ドキュメントを定期的に使用していると、ほとんどの場合は [\[マイホーム\]](#) タブに表示されます。

別のドキュメントを開く場合は、[\[ホーム\]](#) アイコンをクリックまたはタップして BI ラウンチパッドのホーム画面に戻り、上記の手順を繰り返します。

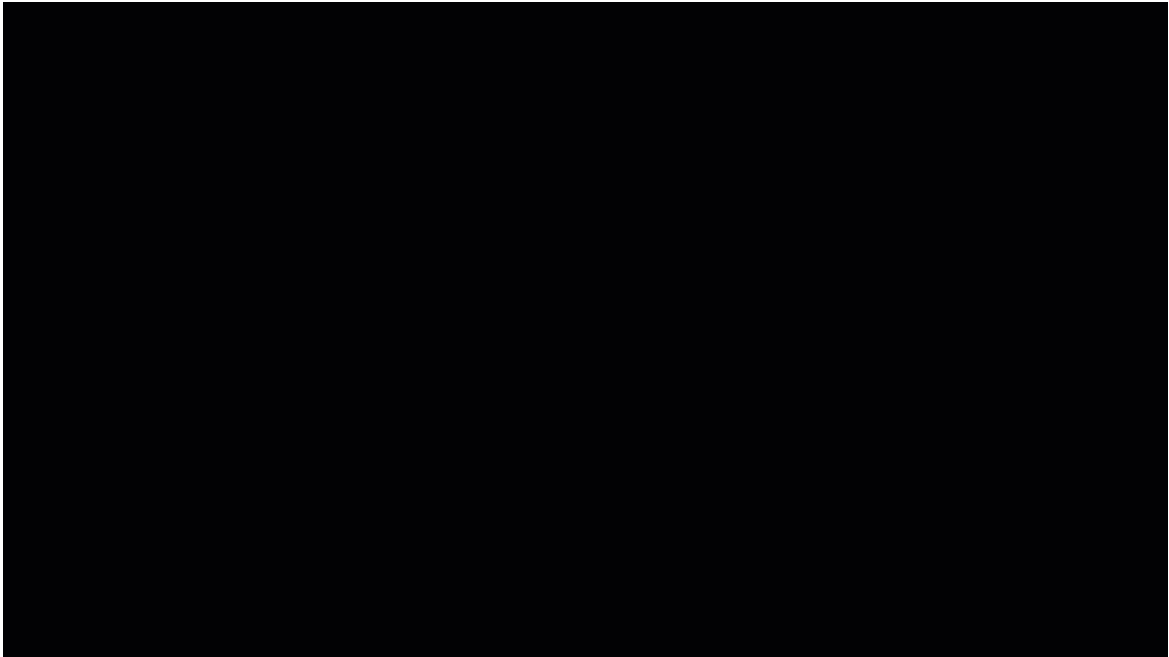
### 4.1.2 開いているドキュメントを切り替える

1. レポートページの上部にある [\[BI ラウンチパッド\]](#) をクリックまたはタップします。
2. 開くドキュメントをクリックまたはタップします。

### 4.1.3 レポートを切り替える


1. レポート名の横にあるドロップダウンメニューをクリックまたはタップします。
2. 開くレポートの名前をクリックまたはタップします。





#### 4.1.4 ドキュメントを最新表示する

データソースの利用可能な最新データがドキュメントに表示されるように、ドキュメントを最新表示します。

1. ツールバーの **[最新表示]**  アイコンをクリックまたはタップして、すべてのデータプロバイダを最新表示します。
2. 必要に応じてプロンプトに回答するか、変数を定義し、**[実行]** をクリックまたはタップします。


ドキュメントに利用可能な最新のデータが含まれています。

##### ① 注記

4.2 SP6 リリース以降、最新表示するクエリを従来の Web Intelligence クライアントで選択することができます。この機能は、従来のクライアントで定義済みの基本設定がインタラクティブビューアに採用されたもので、Web Intelligence インタラクティブビューアに直接影響を与えます。**[最新表示]** アイコンは、最新表示可能と定義されたクエリがない場合は無効化されます。最新表示予定のクエリの一覧を編集する際に、必要な権限がない場合は、レポートデザイナーに依頼してください。従来の Web Intelligence クライアントに編集権限がある場合は、**[Designer で開く]** オプションを使用してドキュメントを従来のクライアントで開き、一覧を編集します。

## 4.1.5 [自動最新表示] モード

[自動最新表示] モードを使用すると、定義した間隔に従って、アプリケーションでドキュメントを定期的に自動最新表示することができます。

間隔は、ある最新表示の開始から次の最新表示までの時間に相当します。ツールバーの  メニューで [自動最新表示] モードを有効にする際に、最新表示の頻度を設定します。定義された間隔よりも最新表示に時間がかかる場合は、現在の最新表示が完了するまで、次に計画された最新表示がスキップされます。

ドキュメントでプロンプトが表示された場合は、1回だけ回答します。その回答は、次に計画されている最新表示に向けて保存されます。


このモードは、特に、表示を体験するためのものです。これを有効化すると、ドキュメントをナビゲートできます。ただし、その値の編集、コメント、順位付け、または並び替えを行うことはできません。また、ツールバーに、最後の最新表示の日付が表示されます。

最新表示の間は、[最新表示] ダイアログボックスは表示されません。代わりに、最後の最新表示時刻がツールバーに表示されます。

### ① 注記


自動最新表示の機能は、従来の Web Intelligence クライアントで最新表示可能と定義されたデータプロバイダに部分的に依存します。[自動最新表示] モードは、クエリがレポートデザイナーにより従来のクライアントの1つで最新表示可能と定義されていない場合は無効化されます。最新表示可能と設定できるクエリの詳細については、SAP BusinessObjects Web Intelligence ユーザガイドの「[クエリを最新表示可能として定義](#)」の節を参照してください。

### 4.1.5.1 ドキュメントを自動で最新表示する

1. ツールバーで  アイコンをクリックします。
2. [自動最新表示モード] をクリックします。
3. 最新表示間に間隔を設定します (分単位)。  
値は 1 ~ 1440 の範囲とする必要があります。
4. オプション: プロンプトが表示されたら、それに回答します。  
入力した回答は、[自動最新表示] モードで次の最新表示に向けて保存されます。
5. オプション: [自動最新表示] モードをオフにするには、[自動最新表示を無効にする] をクリックします。

## 4.1.6 ドキュメントでチャートアニメーションを切り替える

チャートアニメーションは、現在処理しているドキュメントに適用されます。複数のドキュメントにアニメーションを適用する場合は、ドキュメントごとに次の手順を実行してください。このオプションはデフォルトで無効になっています。

1. サイドパネルを開きます。
2.  をクリックして、[ドキュメントの概要]を開きます。
3. [オプション]セクションを展開します。
4. [チャートアニメーション]切り替えをクリックして、チャートアニメーションを有効化/無効化します。

## 4.1.7 レポートを編集する

Web Intelligence の [デザイン] モードに切り替えて、その完全なレポートデザイン機能のセットを利用できます。

レポート要素や、新しいフィルタ、要素リンクなどを追加するには、Web Intelligence の [デザイン] モードに切り替えます。


1. [その他...]メニューをクリックします。
2. [Designer で開く]をクリックします。

## 4.1.8 レポートをエクスポートする

ドキュメント内のすべてのレポートまたは特定のレポートのみを PDF ファイル、Excel スプレッドシート、または HTML アーカイブにエクスポートすることができます。HTML アーカイブは、HTML ファイルが格納された ZIP ファイルです。

現在のページまたは特定のページを PDF ファイル形式にエクスポートする場合、エクスポート対象の適切なページを特定するには、ドキュメントをページモードで表示します。PDF エクスポートでのページのデータの表示方法はページモードでの表示と一致しますが、クイック表示モードでの表示とは異なる場合があります。

[その他]  メニューから [ページモード] を選択します。


1. ツールバーの [その他]  アイコンをクリックまたはタップします。
2. [エクスポート]をクリックします。
3. エクスポートするファイル形式およびレポートを選択します。
4. 必要に応じて、選択したファイル形式で利用可能なオプションを定義します。

### ① 注記

PDF にエクスポートする場合に [ブックマークの表示] オプションを選択すると、ドキュメントを開く際に、Adobe Acrobat Reader でブックマークタブを表示して容易にナビゲートすることができます。デフォルトでは、このオプションは無効になっています。

5. [エクスポート]をクリックまたはタップします。
6. ブラウザタイプに応じてファイルをダウンロードし、保存します。

## 4.1.9 ドキュメントを送信する

1. ツールバーの[その他...]  アイコンをクリックまたはタップします。
2. [送信先...] をクリックまたはタップします。

## 5 Web Intelligence Interactive ビューアでのデータの参照

Web Intelligence Interactive ビューアで、データを参照するためのさまざまな機能を活用します。

### 5.1 データ調査の概念

この節では、レポート内のデータをナビゲートおよび操作するために Web Intelligence Interactive ビューアで利用可能な主要機能について説明します。

次のような機能があります。


- レポートで保存または表示するデータを制限する値の一覧
- 使用するデータに素早くアクセスする [\[ナビゲーションマップ\]](#)
- 表示されるデータでの制限をチェックする [\[フィルタ\]](#) メニュー
- データを操作するアクション
- 1回のクリックまたはタップでデータをフィルタリングする要素リンク

#### 5.1.1 値の一覧

値の一覧を使用すると、ビジネス上の決定に最適な情報を提供するデータを選択することができます。

値の一覧が最初に表示される場所はプロンプト内ですが、値の一覧はフィルタなど、インタフェースのその他の部分にも表示されます。

値の一覧で1つ以上の項目を選択したり、値の一覧を検索して分析に関連する値を探したりすることができます。値の検索は、レポートに保存されているデータをすばやく確認できるため、レポートに非常に大きなデータセットが含まれる場合に特に便利です。

検索バーの横に検索アイコン  が表示されている場合は、値を検索することができます。

##### 5.1.1.1 値の技術キーの表示

データベースでこのアクティビティがサポートされている場合は、データ値の技術キーを検索および表示することができます。

レポートには、非常に大きなデータセットが含まれている場合があります。技術キーがデータベースでのデータの保管方法に反映されるため、技術キーを使用するとデータ値を迅速かつ正確に検索することができます。


入力コントロールのプロパティにより、表示する値の一覧での値ごとに技術キーが設定されます。

## 関連情報

[技術キーを使用して値を検索する \[14 ページ\]](#)

### 5.1.1.1 技術キーを使用して値を検索する

検索で確実な結果を得るには、技術キーを使用します (データベースでサポートされている場合)。

1. 入力コントロールを選択します。
2.  アイコンをクリックします。  
[プロパティ] ダイアログボックスが開きます。
3. [キーの表示] 切り替えボタンをクリックします。
4. 戻る矢印をクリックして、技術キーを参照します。

## 5.1.2 ナビゲーションマップ



レポートでデータがセクションに分類される方法の概要を確認し、必要なセクションに迅速にアクセスするには、[\[ナビゲーションマップ\]](#)を使用します。

レポートデータは、レポートの値に基づいてセクションに分類されます。レポートには、デザインに応じてセクションおよびサブセクションが含まれます。

[\[ナビゲーションマップ\]](#)には、レポートでのすべてのセクションへのリンクが表示され、セクション中の特定の値を検索できます。値の検索により、特にレポートに多数のデータが含まれている場合など、必要な情報を探す時間を節約できます。

セクションをクリックまたはタップして、レポートのセクションデータに移動し、[\[ナビゲーションマップ\]](#)でサブセクションを確認します。選択したセクションおよびサブセクションが[\[ナビゲーションマップ\]](#)の上部にパスとして表示され、現在表示しているデータへのナビゲーション方法を確認できます。

デバイスタイプに応じて、[\[ナビゲーションマップ\]](#)は以下のように左側パネルに表示されます。


- マウスを使用する場合は、画面の下部中央にマウスを移動して縮小ツールバーを表示して、ツールバーの  アイコンをクリックします。
- タッチ画面の場合は、画面の下部をスワイプして、縮小ツールバーを表示し、ツールバーの  アイコンをタップします。

## 5.1.3 [フィルタ] メニュー

レポート内に興味のあるデータが存在するかどうかを判別するには、レポート内のデータと値を制限するフィルタタイプに関するすべての情報を対象とした **[フィルタ]** メニューを確認します。

フィルタタイプには以下が含まれます。

- プロンプト
- 入力コントロールおよびフィルタパス

**[フィルタ]** メニューを表示するには、ツールバーで  アイコンをクリックまたはタップします。


### 5.1.3.1 プロンプトの概要

**[プロンプトの概要]** には、プロンプト内の各質問に対して選択された値が表示されます。最後の最新表示時にデータソースから取得されたデータは、これらの値により制限されていたものです。

レポートにプロンプトの質問がある場合は、**[フィルタ]** メニューの **[プロンプト]** をクリックまたはタップして、**[プロンプトの概要]** を確認することができます。

**[プロンプトの概要]** には、プロンプトのすべての質問と、最後の最新表示時に各質問に対して選択された値が一覧表示されます。レポート内に興味のある値があるかどうかを確認するには、**[プロンプトの概要]** で値を検索することもできます。プロンプトに多数の質問と値が含まれる場合は、値の検索により時間を節約できます。

**[プロンプトの概要]** で値を検索したが見つからない場合は、その値が **[プロンプトの概要]** に存在しないだけで、データソース内に存在しないわけではないことに留意してください。

特定のプロンプトの質問に対して選択されたすべての値を表示するには、その横にある  アイコンをクリックまたはタップします。

### 5.1.3.2 入力コントロールおよびフィルタパスの値

入力コントロールにより、レポートに表示されるデータが、入力コントロールで選択した値に基づいて制限されます。



入力コントロールは、**[フィルタ]** メニューのプロンプトの横に表示されます。これらはレポートデザイナーにより作成され、場合によってはグループ化されます。グループ内の各入力コントロールにより、レポートに表示されるデータがさらに制限されます。

レポート内に入力コントロールのグループがある場合、これらはフィルタパスとして表示されます。フィルタパスは、グループ内の入力コントロールに対して連続的に選択された値を視覚的に表現したものです。

入力コントロールの詳細を表示するには、これをクリックまたはタップします。

### 5.1.3.3 レポートのフィルタに使用される値を表示する

レポートに表示されるデータを理解するには、データのフィルタ用に選択されたフィルタタイプと値を表示します。


1. 必要に応じて  アイコンをクリックまたはタップし、[フィルタ] ツールバーを表示します。
2. このツールバーでプロンプトまたは複数選択入力コントロールをクリックまたはタップします。
3. 以下のいずれかを実行します。
  - プロンプトに対して選択されている値を表示するには、[プロンプトの概要] ダイアログボックスでプロンプトの名前をクリックまたはタップします。
  - 入力コントロールに対して選択されている値を表示するには、チェックマークアイコン  をクリックまたはタップします。

### 5.1.4 データの操作

レポート内のデータに対してアクションを実行するには、そのデータを含むレポート要素を選択して、可能なアクションのアイコンまたはメニュー項目にアクセスします。

実行できるアクションは、レポートで有効化されている詳細オプションと、データの選択方法によって異なります。データの操作は、直接アクションを導入することにより容易になりました。直接アクションは、マウスのクリックで直接実行できるため、直接と呼ばれています。

#### ① 注記

順位、並べ替え、折りたたみ、およびドリルのアクションは、 メニューで有効化されている場合にのみ利用可能です。

### 左クリックアクション

ビジュアライゼーション	利用可能なアクション
チャート	ツールヒントに、選択したデータポイントに関する詳細が表示されています。
テーブル	<ul style="list-style-type: none"><li>• 折たたみ</li><li>• 順位</li><li>• 並べ替え</li><li>• 要素リンクの適用/削除</li></ul> <p>これらのアクションは、1回クリックするとチャート全体に適用されます。2回クリックすると、選択したフィールドに適用されます。</p>



## 右クリックアクション

チャートの場合は、最初のクリックまたは押下によってセルが選択され、2 回目の動作によってテーブルが選択されます。選択した要素の周囲に青色の枠線が表示されます。

その後のクリックまたはタップによってセルとテーブルが交互に選択されます。

テーブルの場合は、最初のクリックによってデータポイントが選択され、2 回目のクリックによってチャートが選択されます。選択した要素の周囲に青色の枠線が表示されます。

その後のクリックまたは押下によってフィールドとチャートが交互に選択されます。



ビジュアライゼーション	利用可能なアクション
チャート	<ul style="list-style-type: none"><li>選択したチャートのコメント</li><li>要素リンクの適用/削除 (特定のデータポイントをクリックする場合)</li></ul>
テーブル	<ul style="list-style-type: none"><li>セル内容のコピー</li><li>セルのコメント</li><li>要素リンクの適用/削除</li></ul>

## マウスオーバー

チャートにマウスオーバーすると、マウスオーバーしたデータポイントの詳細を提供するツールヒントが表示されます。

### 5.1.5 アクションの取り消しまたはやり直し

特定のアクションについて考え直した場合、ツールバーアイコンを使用してアクションを取り消し、アクションの前に表示されていたデータをチェックすることができます。その後、必要に応じてアクションをやり直すことができます。

前のアクションを取り消すには、 アイコンをクリックまたはタップします。取り消したアクションをやり直すには、 アイコンをクリックまたはタップします。

## 5.1.6 要素リンクを含むレポート

Web Intelligence Interactive ビューアでは、表示されているデータに直接アクションが影響を与えることを認識できるように、レポートを開いたときにレポート内の要素リンクに注意が向けられるようになっています。

要素リンクは、2 つ以上のレポート要素間に親子の依存関係を作成するため、親要素に適用されたフィルタが子要素でのデータの表示に影響を与えます。レポートに要素リンクが含まれている場合、クリックやタップによる直接アクションによって親要素にフィルタを適用することができます。

要素リンクが含まれているレポートを最初に開くと、親要素が青色の枠線で表示されます。また、親要素内の値をクリックまたはタップして子要素をフィルタリングする場合は、そのフィルタリングアクションおよび値を確認するメッセージが表示されます。


## 5.2 プロンプトへの回答

プロンプトは、ドキュメントを最新表示する際にデータソースから返されるデータを制限することにより、最適な最新表示時間と、分析対象データの重点的な選択という利点を得ることができます。

プロンプトは、ドキュメントを最新表示するたびに入力要求される質問形式の動的フィルタです。

各プロンプトは、メッセージ、演算子、およびオブジェクトで構成されます。プロンプトに回答するには、値を入力するか、または一覧から値を選択します。これで、クエリによって、選択した値に関連するデータのみが取得されます。

プロンプトを使用することで、複数のユーザが同じドキュメントを表示し、データベース情報の異なるサブセットを指定して同じレポートのテーブルやチャートに表示することができます。また、プロンプトにより、データソースから取得されるデータが制限され、データの取得にかかる時間も最小化されます。

プロンプトには、必須のものとオプションのものがあります。ドキュメントを最新表示する場合は、すべての必須プロンプトに回答する必要があります。それぞれの必須プロンプトの横には、青い星印  が表示されます。

### ① 注記

Web Intelligence のレポートデザイナーで作成されたプロンプトにのみアクセスすることができます。Web Intelligence Interactive ビューアでレポートにプロンプトを追加することはできません。

## 関連情報

[プロンプトバリエーション \[19 ページ\]](#)

[プロンプトの設定 \[19 ページ\]](#)

[プロンプト設定にアクセスする \[20 ページ\]](#)

## 5.2.1 プロンプトバリエーション

よく使用される変数値セットのグループをプロンプトバリエーションとして保存することができます。

[[プロンプト](#)] ダイアログボックスでプロンプトごとに値を選択した後、変数値セットに名前を付けてプロンプトバリエーションとして保存することができます。その後、ドロップダウンリストでプロンプトバリエーションが利用可能になります。

たとえば、地域内の複数の支社の地域担当マネージャは、支社ごとにプロンプトバリエーションを作成することができます。その後、レポートを最新表示し、支社 A のプロンプトバリエーションを選択すると、ドキュメントに支社 A のデータのみが表示されます。

## 5.2.2 プロンプトの設定


プロンプトの設定にアクセスすることができます。

以下の表に、利用可能な設定の詳細を示します。

オプション	説明
<a href="#">大文字と小文字を区別する</a>	<p>検索では、大文字小文字が区別されます。</p> <p>このオプションは、<a href="#">キーの検索</a> または <a href="#">データベース検索</a> オプションを選択した場合には使用できません。</p>
<a href="#">データベース検索</a>	<p>一覧に読み込まれた値に制限されることなく、データベースに保存されているすべての値を含めて検索します。検索の精度は向上しますが、速度は低下します。</p> <p>このオプションは、データベース検索をサポートする値の一覧でのみ使用することができます。</p> <p>データベースの検索によって検索の精度は向上しますが、パフォーマンスが低下します。データベース検索は、値の一覧内の一部の値を取得できなかった場合に役立ちます。このような状況は、一覧内の値の合計数が、<a href="#">最大受信行数</a> クエリプロパティ値を超える場合に起こります。</p> <p>データベースの検索は、値の一覧が階層である場合に特に有効です。これは、値は階層内で展開されている親値への応答としてのみデータベースからロードされるためです。たとえば、地理階層の場合、値 "カリフォルニア" の子値 (カリフォルニアの都市) は、値 "カリフォルニア" が展開されない限りデータベースからロードされません。このオプションを選択すると、検索には値 "カリフォルニア" が展開されていなくてもこれらの項目が含まれます。</p>
<a href="#">キー別検索</a>	<p>この検索では、表示値ではなく一意の値キーを使用します。</p> <p>このオプションは、キー値をサポートする値の一覧でのみ使用することができます。</p>
<a href="#">キーの表示</a>	<p>キーを使用した値の検索を有効にするかどうかを選択します。</p>

## 5.2.3 プロンプト設定にアクセスする


1. [プロンプト] ダイアログボックスで、プロンプトを選択します。

2. 歯車の  アイコンをクリックまたはタップします。




## 5.3 レポート要素の折りたたみと展開

レポート内のキーデータに焦点を当てて、残りのデータを非表示にするには、キーデータを含むレポート要素を展開し、その他すべてを折りたたみます。

セクション、ブレイク、およびテーブルを折りたたんだり展開したりすることができます。折りたたみアクション

ンを有効にするには、[その他...]  アイコンをクリックまたはタップし、[折りたたみアクションの有効化]を選択します。

データを折りたたむか、展開することができるアイコンは、レポート要素の横に表示されます。

-  アイコンを使用してデータを折りたたみます。
-  アイコンを使用してデータを展開します。
-  アイコンを使用して、複数の折りたたみアクションのメニューにアクセスします。

セクションを右クリックして、レポート内のすべてのセクションのアクションにアクセスすることもできます。

レポート要素に応じて、データは異なる方法で表示されたり、非表示になったりします。



レポート要素	結果
セクション	セクションが折りたたまれている場合は、セクションとセクションに関連付けられているフリーセルのみが表示されます。セクションの詳細はすべて非表示になります。
テーブルまたはブレイク	テーブルやブレイクが折りたたまれている場合、行または列が非表示になり、ヘッダとフッタのみが表示されます。つまり、テーブルを折りたたんだり展開したりするには、ヘッダとフッタが必要になります。  垂直テーブル、水平テーブル、およびクロステーブルは、折りたたんだり展開したりすることができます。

## 関連情報

[レポート要素を折りたたむ/展開する \[21 ページ\]](#)

### 5.3.1 レポート要素を折りたたむ/展開する

レポート要素を折りたたんで分析に関係のないデータを非表示にし、最も意味のあるデータが表示されるレポート要素を展開します。



1. **[その他...]**  アイコンをクリックまたはタップし、**[折りたたみアクションの有効化]**を選択します。  
レポート要素を折りたたんだり、展開したりするためのアイコンが表示されます。
2. アイコンをクリックまたはタップして、必要に応じて分析するデータを展開し、残りのデータを折りたたみます。
3. オプションで、すべてのセクションの折りたたみアクションにアクセスするには、セクションを右クリックします。
4. オプションで、折りたたみアクションを無効にするには、**[その他...]**  アイコンをクリックまたはタップし、**[折りたたみアクションの無効化]**を選択します。

## 5.4 階層データの折りたたみおよび展開

レポートに階層データが含まれている場合、各階層レベルの集計されたメジャーによってさまざまな階層レベルに分類されたデータが表示されます。階層データを展開および折りたたんで、必要な詳細のレベルのデータを分析することができます。

単純なクリックやタップによる直接アクションによって階層データを展開および折りたたみます。▶ アイコンを

クリックして現在の階層値の子値を展開するか、 アイコンをクリックして子値を折りたたみます。

ドリルフォーカスを設定するには、階層データ値を右クリックするか、押します。その後、ドリルフォーカスの方向に応じて  アイコンまたは  を選択します。

たとえば、"地理" 階層で、"米国"、より詳細なレベルの "カリフォルニア"、その後 "サンフランシスコ" および "ロサンゼルス" の "売上げ" メジャーに移動し、分析することができます。



レポートに階層データが含まれるかどうかは、データソースによって異なります。

## 関連情報

[階層データを展開する/折りたたむ \[22 ページ\]](#)


## 5.4.1 階層データを展開する/折りたたむ

階層値を持つテーブルでは、現在の階層データ値の子メンバーを展開したり、折りたたんだりすることができます。

1. 子メンバーを展開するには、階層データ値の  アイコンをクリックします。
2. 子メンバーを折りたたむには、現在の階層値の  アイコンをクリックします。

## 5.5 レポートデータのコメント作成

レポートデータに関する情報を、データの表示場所で直接コメントを使用して交換することで、より効果的に同僚とコラボレーションします。

レポート要素にコメントを追加すると、レポートを開いたときに誰でもすばやく識別できるように、黄色のリボン  がレポート要素に表示されます。

ツールチップでコメントを参照するには、黄色のリボンをクリックまたはタップします。レポート要素にコメントスレッドまたは複数のコメントが存在する場合は、レポートデザインに応じて、ツールチップに最初または最後のコメントのみが表示されます。

左側のパネルでスレッド内のすべてのコメントを表示し、コメントを編集、追加、または削除するには、ツールチップの **[スレッドを開く]** をクリックまたはタップします。

権限に応じて、以下のレポート要素についてコメントを表示、追加、編集、および削除できます。

- セクション
- テーブルまたはチャート
- レポートセル
- テーブルセル

### 関連情報

[レポート内のコメントを表示する \[23 ページ\]](#)


[レポートにコメントを追加する \[23 ページ\]](#)

[レポート内のコメントを編集する \[23 ページ\]](#)

[レポート内のコメントを削除する \[23 ページ\]](#)

## 5.5.1 レポート内のコメントを表示する


レポートのコメントおよびコメントスレッドを読み取ります。

1. 黄色のリボンにカーソルを合わせます。
2. 
3. リボンをクリックまたはタップします。  
コメントがツールヒントに表示されます。
4. スレッド内のすべてのコメントを表示するには、[スレッドを開く] をクリックまたはタップします。

左側のパネルにスレッド内のすべてのコメントが表示され、権限に応じてコメントを編集、追加、または削除することができます。


## 5.5.2 レポートにコメントを追加する

レポートにコメントを追加して、データに関する情報を同僚と交換します。

1. コメントを追加するレポート要素を右クリックまたはクリックします。
2.  アイコンをクリックまたはタップします。  
左側のパネルに [コメント] エリアが表示されます。
3. コメントを入力して、[保存] をクリックまたはタップします。


## 5.5.3 レポート内のコメントを編集する


既存のコメントのテキストを編集して、コメントを更新または修正します。

1. 黄色のリボン  にカーソルを合わせます。
2. リボンをクリックまたはタップします。
3. [スレッドを開く] をクリックまたはタップします。
4. コメントのテキストを編集して、[保存] をクリックまたはタップします。

## 5.5.4 レポート内のコメントを削除する

レポートのターゲットユーザに関係がない場合は、コメントを削除します。

1. 黄色のリボン  にカーソルを合わせます。
2. リボンをクリックまたはタップします。
3. [スレッドを開く] をクリックまたはタップします。

4. コメントの  アイコンをクリックまたはタップします。



## 6 Web Intelligence Interactive ビューアでのフィルタリング

フィルタによって、関係のないデータに惑わされることなくビジネスクエスチョンに直接関連するデータを集中して分析することができます。

レポート内のデータを制限するすべてのコントロール (プロンプト、入力コントロール、およびドリルフィルタ) がツールバーの **[フィルタ]** メニューに表示されます。

データソースからレポートに返されるデータを制限するために最新表示時に定義するプロンプトとは異なり、フィルタはレポートに表示されるデータを制限します。いつでもフィルタの値を変更して、分析の焦点を移すことができます。

この節では、以下のフィルタタイプとその使用について説明します。

- 入力コントロールおよびフィルタパス
- 要素リンク
- ドリル

### 関連情報

[\[フィルタ\] メニュー \[15 ページ\]](#)

[プロンプトの概要 \[15 ページ\]](#)

[プロンプトへの回答 \[18 ページ\]](#)

[入力コントロールおよびフィルタパスの値 \[15 ページ\]](#)

[入力コントロール \[25 ページ\]](#)

[要素リンク \[28 ページ\]](#)

[ドリル \[29 ページ\]](#)

### 6.1 入力コントロール

入力コントロールによって、正確な分析のためにレポートデータを簡単にフィルタできる便利が方法が提供されます。Web Intelligence Interactive ビューアに精通している必要はありません。

入力コントロールは、**[フィルタ]** メニューのプロンプトの横に表示されます。

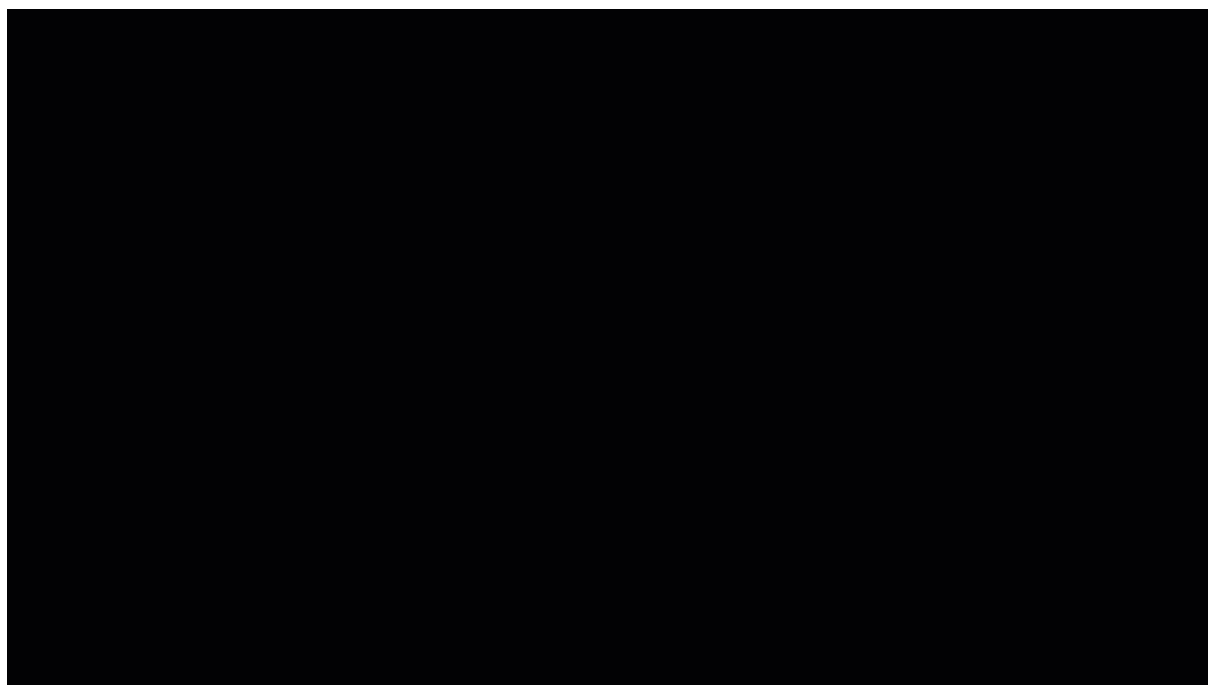
入力コントロールの値を選択すると、関連付けられたレポート要素のデータが、選択値を基準にフィルタリングされます。入力コントロールは、Web Intelligence のレポートデザイナーで事前定義および作成されています。動的フィルタリングを有効にし、一連の選択に応じてグループ内の各入力コントロールで使用可能な値を制限するために、これらをグループ化することができます。

レポート内に入力コントロールのグループがある場合は、フィルタパスと呼ばれるものを使用します。フィルタパスは、レポートデザイナーが意図的にグループ化した複数の入力コントロールに対して連続的に選択した値を視覚的に表現したものです。これを使用することで、データの段階的な制限が可能になります。

#### ① 注記

Web Intelligence のレポートデザイナーで作成された入力コントロールの値のみ選択することができます。  
Web Intelligence Interactive ビューアでレポートに入力コントロールを追加することはできません。

## 例



## 関連情報

- [入力コントロールの値を選択する \[27 ページ\]](#)
- [入力コントロールの値を編集する \[27 ページ\]](#)
- [入力コントロールの値をリセットする \[27 ページ\]](#)
- [フィルタパスを登録する \[27 ページ\]](#)
- [入力コントロールをフィルタパスに追加する \[28 ページ\]](#)
- [フィルタパスから入力コントロールフィルタを削除する \[28 ページ\]](#)

## 6.1.1 入力コントロールの値を選択する

1. 入力コントロールの名前をクリックまたはタップします。
2. 値を選択します。
3. **[OK]** をクリックします。

これで、選択した値が入力コントロールの名前の下に表示され、レポートにはその値に関連するデータのみが表示されます。

## 6.1.2 入力コントロールの値を編集する

1. 編集する入力コントロールをクリックまたはタップします。
2. 値を編集します。
3. **[OK]** をクリックまたはタップします。

これで、新しい値が入力コントロールの名前の下に表示され、レポートにはその値に関連するデータのみが表示されます。

## 6.1.3 入力コントロールの値をリセットする

入力コントロールの値をリセットした場合は、レポートデザイナーで定義されたデフォルト値に値が変更されます。


1. 値をリセットする入力コントロールをクリックまたはタップします。
2. **[リセット]** をクリックします。

これで、デフォルト値が入力コントロールの名前の下に表示され、レポートにはその値に関連するデータのみが表示されます。

## 6.1.4 フィルタパスを登録する

レポートデザイナーで作成した入力コントロールのグループがレポートに含まれている場合、グループの 2 つ以上の入力コントロールに対して連続的に値を選択することで、フィルタパスと呼ばれるものを作成することができます。

フィルタパスにより、データをより正確に制限することができます。入力コントロールの値を選択するたびに、次の入力コントロールに使用可能な値の数が減少します。この表示により、分析するデータを一見して明確に認識することができます。

1. **[フィルタ]** メニューで、グループの名前をクリックまたはタップします。
2. グループ名の左にある  アイコンをクリックまたはタップします。

3.  アイコンをクリックまたはタップします。


4. 入力コントロールを選択します。
5. 値を選択します。  
これで、選択した値が入力コントロールの名前の下に表示され、レポートにはその値に関連するデータのみが表示されます。
6. 上記の手順を少なくとももう1つ別の入力コントロールに対して繰り返し、フィルタパスを作成します。  
追加の入力コントロールごとに値が入力コントロールの名前の下に表示され、レポートにはその追加の値に関連するデータのみが表示されます。

## 6.1.5 入力コントロールをフィルタパスに追加する


入力コントロールを既存のグループに追加し、既存のフィルタパスに含めることができます。

### ① 注記

追加する入力コントロールは、既存のフィルタパスにある同じ入力コントロールグループに含める必要があります。

1. 入力コントロールを追加するグループを展開します。
2.  アイコンをクリックまたはタップします。
3. 入力コントロールを選択します。
4. 値を選択します。  
追加の入力コントロールの値が入力コントロールの名前の下に表示され、レポートにはその追加の値に関連するデータのみが表示されます。

## 6.1.6 フィルタパスから入力コントロールフィルタを削除する

1. [フィルタ]メニューで、削除する入力コントロールをタップするか、カーソルを合わせます。  
入力コントロールの右側にアイコン  が表示されます。
2. このアイコンをクリックまたはタップします。  
これで、以前に入力コントロールによって制限されたデータがレポートに表示されます。



## 6.2 要素リンク

要素リンクは、もう1つの種類の入力コントロールです。1つの要素で値を選択すると、リンクされた別の要素に表示されるデータがその値によってフィルタリングされます。

要素リンクは、2つ以上のレポート要素間に親子の依存関係を構築し、レポートに動的フィルタリングを追加します。親要素で選択した値により、1つまたは複数の子レポート要素によって表示されるデータがフィルタリングされます。

最初に要素リンクが含まれているレポートを開くと、親要素は青色の枠線で囲まれて表示され、子要素のデータのフィルタリングに使用できることが示されています。親要素で値を選択した後、フィルタリングのアクションと値を確認するメッセージが表示され、フィルタリングされた子要素が青色の枠線で強調表示されます。フィルタリングが完了すると、フィルタリングした親要素の値が青色の枠線で強調表示されます。

フィルタリングは、親要素の値をクリックまたはタップする直接アクションで適用することができます。フィルタを削除するには、その値を再度クリックまたはタップします。

有効な場合、要素リンクは[フィルタ]メニューにアイコン  で示されます。フィルタリングされているオブジェクトを確認するには、これをクリックまたはタップします。ここで、 アイコンをクリックまたはタップして、オブジェクトを削除することもできます。

#### ⚠ 警告

ドリルフィルタがレポートで有効になっている場合は、要素リンクを使用することができません。

#### ① 注記

Web Intelligence のレポートデザイナーで作成された要素リンクのみ使用することができます。Web Intelligence Interactive ビューアでは、要素リンクを作成することはできません。

## 関連情報

[要素リンクを含むレポート \[18 ページ\]](#)

## 6.3 ドリル

ドリルすることで、テーブル、チャート、またはセクションに表示されているリレーショナルデータを掘り下げ、良い結果または悪い結果の背後にある原因を発見することができます。

これは、最も関心のあるデータにすばやく簡単にアクセスする方法であり、レポートですぐに使用することができます。オブジェクトをドリルアップまたはドリルダウンすると、選択したディメンションおよび値が[フィルタ]ツールバーに表示されます。

ドリルフィルタでは "等しい (=)" 演算子を使用されるため、フィルタごとに1つの値のみ選択することができます。

レポート要素から直接ドリルすることも、[フィルタ]メニューの自由に利用できるドリルフィルタを使用することもできます。セルやデータポイントをクリックまたはタップする直接アクションによってドリルダウンします。ドリルダウンまたはドリルアップを選択するには、レポート要素を右クリックします。

#### ① 注記

レポートでドリルを有効化すると、要素リンクは使用できません。

## 階層ナビゲーションに関する詳細

インタラクティブビューアで、リレーショナルデータと階層データの両方にドリルを実行することができます。階層データをナビゲートする際に、データのドリルフォーカスを切り替えて階層を探索することができます。

### ① 注記

階層のドリルは、[ドリルの有効化] オプションを無効化した場合でも実行できます。

階層データナビゲーションの詳細については、「[階層データの操作](#)」を参照してください。

## 関連情報

[ドリルパスに従ったドリル \[30 ページ\]](#)

[\[フィルタ\] メニューからディメンションをドリルする \[31 ページ\]](#)

[レポート要素からディメンションをドリルする \[31 ページ\]](#)

[ドリルフィルタを編集またはリセットする \[32 ページ\]](#)

[ドリルフィルタを削除する \[32 ページ\]](#)

[ドリルを有効にする \[31 ページ\]](#)

## 6.3.1 ドリルパスに従ったドリル

データをドリルするときは、ドリルパスに沿って、データ内の各種の詳細レベルに移動します。

これらのパスは、ユニバース作成者が設定したディメンション階層によって決まります。ユニバース作成者は、要約されたオブジェクトをクラスの最上部に、最も詳細なオブジェクトを最下部に配置し、オブジェクトを階層化しています。

たとえば "四半期" のデータでは結果を十分に説明できない場合、ユニバース作成者が設定した階層に従って "月" または "週" レベルにドリルダウンすることができます。異なるレベルにドリルすると、"売上げ" や "利益" などのメジャーが適宜再計算されます。


ドリルパスは通常、ユニバースのクラスと同じ階層構造をしています。たとえば "期間" クラスでは、最上位の "年" ディメンションに続いて "四半期"、"月"、"週" ディメンションが配置されています。通常は、年間の結果をドリルして四半期、月などの詳細を分析していくため、"期間" 階層内のドリル用の階層も同じ順序に従っています。ただし、ユニバース作成者は階層をカスタマイズして定義することもできます。

ドリルパスに沿ってドリルしながら、ドリルフィルタを使用して、各詳細レベルで表示するデータを制限することもできます。ドリルフィルタを編集またはリセットすると、レポートにはフィルタ値の変更が反映されますが、ドリルパスにおける同じ詳細レベルのままです。

たとえば、[年] に対する当初のフィルタ値が 2015 であり、[四半期] レベルまでドリルダウンしたとします。レポートには 2015 Q1、2015 Q2、2015 Q3、および 2015 Q4 の [売上げ] と [利益] が表示されます。ドリルフィルタの値を 2016 に変更すると、レポートではその変更を反映して、年度 2016 のメジャーが表示されますが、[四半期] レベルのままなので、2016 Q1、2016 Q2、2016 Q3、および 2016 Q4 のメジャーが表示されます。



## 6.3.2 ドリルを有効にする



1. ツールバーで  メニューをクリックします。
2. [\[ドリルを有効にする\]](#) オプションをチェックします。


## 6.3.3 [フィルタ] メニューからディメンションをドリルする

ドリルフィルタをレポートに適用して、レポートで表示されるデータを制限します。レポート作成者がドリルを有効にしてある場合のみ、Web Intelligence Interactive ビューアでドリルフィルタを使用できます。

1. [\[フィルタ\]](#) ツールバーで、[\[ドリルフィルタ\]](#) の横にある  アイコンをクリックまたはタップします。
2.  アイコンをクリックします。
3. ディメンションを選択します。  
レポートに、[\[すべての値\]](#) でフィルタされたディメンションのデータが表示されます。
4. 値を選択します。
5. [\[OK\]](#) をクリックまたはタップします。  
選択したフィルタ値に関連するデータのみがレポートで表示されます。


## 6.3.4 レポート要素からディメンションをドリルする

レポート要素からディメンションを、ドリルパスに従ってデータのさまざまなレベルにドリルアップまたはドリルダウンします。

レポートを開く際に、ドリルフィルタを適用するディメンションの列ヘッダに  アイコンが表示されます。

### ① 注記

ドキュメントを開く前にドリルダウンのアクションを実行した場合は、このアイコンが表示されません。

1. テーブル内のセル、チャート内の列ヘッダまたはデータポイントをクリックまたはタップして、ドリルダウンします。セル、列ヘッダ、またはデータポイントを右クリックして、ドリルアップかドリルダウンを選択します。  
  
レポートページの列ヘッダの横にドリル  アイコンが表示されるため、ドリルフィルタが有効であることがわかります。[\[フィルタ\]](#) メニューにドリルフィルタが表示されます。
2. オプション: 上記の手順を繰り返してさらにドリルします。
3. ドリルアップするには、[\[フィルタ\]](#) メニューに移動し、手動でフィルタを削除します。

## 6.3.5 ドリルフィルタを編集またはリセットする


フィルタを編集またはリセットすると、フィルタ値の変更がレポートデータに反映されますが、変更前にドリルパスで到達していた詳細レベルは変更されません。リセットすると、フィルタ値が、フィルタされたディメンションのすべての値のデフォルトに復元されます。

レポートデザイナーがドキュメントでフィルタを有効にした場合は、Web Intelligence Interactive ビューアでドリルフィルタが有効になります。

1. [フィルタ] メニューで、編集するドリルフィルタをクリックまたはタップします。
2. 値を編集するには、新しい値を選択します。デフォルトをリセットするには、[すべて選択] をクリックまたはタップします。
3. [OK] をクリックまたはタップします。

レポートに、値に関連するデータが表示されます。

## 6.3.6 ドリルフィルタを削除する

1. [フィルタ] ツールバーで、削除するドリルフィルタにカーソルを合わせるか、タップします。
2.  アイコンをクリックまたはタップし、フィルタを削除します。

### ① 注記

ドリルフィルタを削除する際に、ドリルのレベルはリセットされません。たとえば、年から月にドリルダウンした場合、ドリルフィルタを削除してもデータは年レベルにリセットされません。



## 7 Web Intelligence インタラクティブビューアでのデータの整理

順位および並べ替えを使用してデータを整理し、順位付けすることができます。

このセクションでは、データ操作およびレポートのデータの順位付けおよび並べ替え方法の原則を説明します。

### 7.1 順位

順位の手法を使用してレポート内のデータをフィルタリングすることができます。

順位を使用すると、さまざまな基準に基づいて上位および下位のレコードを分け、以下のような複数のビジネスクエスチョンに回答することができます。

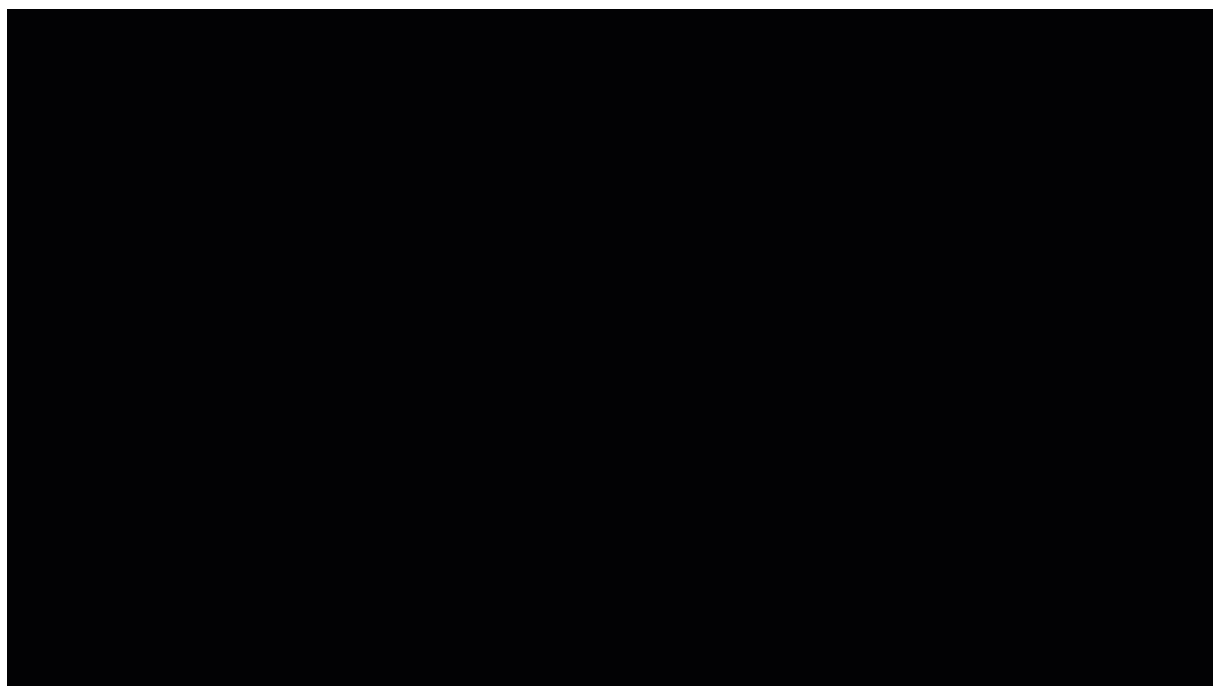
- 売上げにおいて上位 3 位に入る地域
- 売上げにおいて下位 10% に入る店舗
- 連結収益が 10,000,000 ドル以下の、最も業績の良い店舗のグループ

これらの質問に回答するために、複数のパラメータを利用して、データの順位付け後に取得される結果をカスタマイズすることができます。以下の表に、これらのパラメータを示します。

パラメータ	処理内容
上位/下位	<p>計算モードが <b>[件数]</b> に設定されている場合、順位付けを実行すると、<b>[基準元]</b> パラメータで指定したメジャーに基づいて、上位/下位 n 件のレコードが返されます。たとえば、収益が上位 3 位までの国や、収益が下位 3 位までの年/四半期の組み合わせなどです。</p> <p>計算モードが <b>[パーセンテージ]</b> に設定されている場合、順位付けを実行すると、<b>[基準元]</b> パラメータで指定したメジャーに基づいて、レコードの合計数の上位/下位 n% が返されます。たとえば、100 件のレコードがあり、上位 10% を順位付けする場合、順位付けにより上位 10 件のレコードが返されます。</p> <p>計算モードが <b>[累積合計]</b> に設定されている場合、順位付けを実行すると、<b>[基準元]</b> で指定したメジャーの累積合計が上位/下位パラメータで指定された値を超えない上位/下位レコードが返されます。</p> <p>計算モードが <b>[累積パーセンテージ]</b> に設定されている場合、順位付けを実行すると、<b>[基準元]</b> で指定したメジャーの累積合計が上位/下位パラメータで指定されたメジャー合計の n% を超えない上位/下位レコードが返されます。</p>
基準元	順位の基となるメジャー。

パラメータ	処理内容
選択項目別の順位	<p>順位ディメンション。順位ディメンションを指定すると、そのディメンションについて計算される <a href="#">[基準元]</a> パラメータの集計値によって順位が決まります。順位ディメンションを指定しない場合は、ブロック内のすべてのディメンションについて計算される <a href="#">[基準元]</a> パラメータの値によって順位が決まります。つまり、メジャーに基づいてブロックの上位/下位 X 行が返されます。</p> <p>順位付けするディメンションは、順位が適用されるブロックの一部である必要はありません。ただし、この場合、順位付けされたデータを並べ替えることはできません。</p>
計算モード	順位を作成するために使用される計算の種類。

## 例



## 関連情報

[クイック順位を作成する \[35 ページ\]](#)


[順位を作成する \[35 ページ\]](#)

[順位を編集する \[35 ページ\]](#)


[順位を削除する \[36 ページ\]](#)

## 7.1.1 クイック順位を作成する

レポートブロックまたはフィールドを直接選択することによって、クイック順位を作成することができます。


順位が  メニューで有効化されていることを確認してください。


1. レポートブロックまたはフィールドを選択します。

2.  **[順位]** アイコンをクリックまたはタップします。  
フィールドおよびそのメジャーを選択した場合は、**[基準元]** フィールドが事前入力された状態で、**[順位]** ダイアログボックスが開きます。フィールドおよびそのディメンションを選択した場合は、**[選択項目別の順位]** フィールドが事前入力された状態で、**[順位]** ダイアログボックスが開きます。
3. 上位レコードまたは下位レコードを返すかどうか、およびその件数を選択します。
4. 以下のいずれかを実行します。
  - メジャーに基づいて順位付けする場合は、**[OK]** をクリックまたはタップします。
  - レポートブロックまたはディメンションに基づいて順位付けする場合は、**[基準元]** フィールドでメジャーを選択して **[OK]** をクリックします。


レポートページにクイック順位が適用されたデータが表示されます。

## 7.1.2 順位を作成する

順位が  メニューで有効化されていることを確認してください。

1. 順位付けするレポートブロックをクリックまたはタップします。
2.  **順位** アイコンをクリックまたはタップします。
3. それぞれのフィールドに入力します。  
**[選択項目別の順位]** および **[計算モード]** パラメータが **[詳細設定]** の下にあります。
4. **[OK]** をクリックまたはタップします。

## 7.1.3 順位を編集する

1. 順位を編集するレポートブロックをクリックまたはタップします。
2.  **順位** アイコンをクリックまたはタップします。
3. 必要な値およびパラメータを編集します。
4. **[OK]** をクリックまたはタップします。

## 7.1.4 順位を削除する

1. 順位を削除するレポートブロックをクリックまたはタップします。



2. 順位 アイコンをクリックまたはタップします。
3. [削除] をクリックまたはタップします。

## 7.2 並べ替え

テーブル、チャート、およびセクションに表示される値を並べ替えることにより、レポートに表示される順序を編成することができます。

デフォルトでは、並べ替えは常に最初の列から開始されます。以下の表に、利用可能なさまざまなパラメータを示します。

パラメータ	処理内容
デフォルト	列や行のデータ型によって、結果は以下のように並べ替えられます。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 数値データの場合は数値として昇順</li><li>• 日付データの場合は時系列で昇順</li><li>• 英数字データの場合はアルファベット順</li></ul>
昇順	これを選択すると、結果は昇順に配置され、最も小さい値が列の先頭に來ます。 例: 100、200、300 または California、Colorado、Florida の順番で表示されます。
降順	これを選択すると、結果は降順に配置され、最も高い値が列の先頭に來ます。 例: 300、200、100 または Florida、Colorado、California の順番で表示されます。

例

## 関連情報

[レポートブロックに並べ替えを追加する \[37 ページ\]](#)


[特定のフィールドに並べ替えを追加する \[38 ページ\]](#)

[レポートブロックから1つまたはすべての並べ替えを削除する \[38 ページ\]](#)

[特定のフィールドから並べ替えを削除する \[38 ページ\]](#)

[並べ替えの優先度を管理する \[39 ページ\]](#)

## 7.2.1 レポートブロックに並べ替えを追加する



並べ替えが  メニューで有効化されていることを確認してください。

1. レポートブロックをクリックまたはタップします。

2. 並べ替え  アイコンをクリックまたはタップします。


3.  アイコンをクリックまたはタップします。

4. ドロップダウンリストで、並べ替えるレポートブロックの列を選択します。

5. 昇順の並べ替えの場合は  を、降順の並べ替えの場合は  をクリックまたはタップします。





レポートブロックに、並べ替えられたデータが表示されます。

## 7.2.2 特定のフィールドに並べ替えを追加する

並べ替えが  メニューで有効化されていることを確認してください。


並べ替えに使用するフィールドは、垂直テーブルの場合には列、水平テーブルの場合には行、クロステーブルの場合にはセルで選択できます。



1. フィールドを2回タップします。
2. 以下のいずれかを実行します。

- 昇順で並べ替えるには、並べ替え  アイコンを1回クリックまたはタップします。  
上向き矢印がアイコン  の右上隅に表示されます。
- 降順で並べ替えるには、並べ替え  アイコンを2回クリックまたはタップします。  
下向き矢印がアイコン  の右上隅に表示されます。


レポートブロックに、並べ替えられたデータが表示されます。

## 7.2.3 レポートブロックから1つまたはすべての並べ替えを削除する

並べ替えが  メニューで有効化されていることを確認してください。





1. レポートブロックをクリックまたはタップします。
2. 並べ替え  アイコンをクリックまたはタップします。
3. **[並べ替え]** ダイアログボックスで、特定の並べ替えを削除するための  アイコンか、すべての並べ替えを削除する **[すべてを削除]** のいずれかをクリックまたはタップします。
4. **[OK]** をクリックまたはタップします。

## 7.2.4 特定のフィールドから並べ替えを削除する


並べ替えが  メニューで有効化されていることを確認してください。




並べ替えを削除するフィールドは、垂直テーブルの場合には列、水平テーブルの場合には行、クロステーブルの場合にはセルで選択できます。

1. フィールドを2回タップします。
2. 以下のいずれかを実行します。

- ソートが昇順であった場合は、ソート  アイコンを2回クリックまたはタップして、矢印  なしで表示されるようにします。
- ソートが降順であった場合は、ソート  アイコンを1回クリックまたはタップして、矢印  なしで表示されるようにします。

## 7.2.5 並べ替えの優先度を管理する



並べ替えが  メニューで有効化されていることを確認してください。

1. レポートブロックをクリックまたはタップします。
2. 並べ替え  アイコンをクリックまたはタップします。
3. [並べ替え] ダイアログボックスで、上矢印  および下矢印  をクリックして、複数の並べ替え間の優先度を定義します。
4. [OK] をクリックします。

# 重要免責事項および法的情報

## ハイパーリンク

リンクの一部は、アイコンやマウスオーバーテキストで分類されています。これらのリンクから、追加の情報を得ることができます。アイコンについて。

-  このアイコンが付いたリンク: SAP がホストしているものではない Web サイトに移動します。これらのリンクを使用することで、お客様は (お客様と SAP との契約書に別段の明示的な記載がない限り) 以下のことに同意することになります。
  - リンク先のサイトのコンテンツが SAP のドキュメンテーションではないこと。お客様は、この情報に基づいて SAP に対する製品クレームを推断することはできません。
  - SAP が、リンク先のサイトのコンテンツについて同意することも反対することもなく、また SAP がその利用可能性や正確性について保証しないこと。SAP は、かかるコンテンツの使用により発生した損害が、SAP の重大な過失又は意図的な違法行為が原因で発生したものでない限り、その損害に対して一切責任を負いません。
-  このアイコンが付いたリンク: 当該の特定の SAP 製品又はサービスのドキュメンテーションから離れ、SAP がホストしている Web サイトに移動します。これらのリンクを使用することで、お客様は (お客様と SAP との契約書に別段の明示的な記載がない限り)、この情報に基づいて SAP に対する製品クレームを推断することはできないことに同意します。

## 外部プラットフォームでホストされているビデオ

一部のビデオは、サードパーティのビデオホスティングプラットフォームに置かれている場合があります。SAP では、これらのプラットフォームに保存されているビデオが将来にわたって利用できると保証することはできません。また、これらのプラットフォームにホストされている、いかなる広告またはその他のコンテンツ (関連ビデオまたは同じサイトでホストされている別のビデオに移動する場合など) については、SAP の管理外であり責任を負いません。

## ベータおよびその他の試験的機能

試験的機能は、SAP が将来のリリースを保証する正式に提供される機能の範囲外です。これは、試験的機能は、SAP により通知なく理由の如何を問わず随時変更される場合があることを意味します。試験的機能は、本稼働使用のためのものではありません。お客様は、試験的機能を実際の運用環境で、又は十分なバックアップがとられていないデータとともに、デモンストレーション、テスト、試験、評価その他の方法で使用してはなりません。

試験的機能の目的は、早期にフィードバックを得ることで、それに応じて顧客の皆様やパートナーが将来の製品に影響を与えることを可能にすることです。SAP コミュニティなどにおいてフィードバックを提供することで、お客様は、投稿物や二次的著作物の知的財産権が SAP の独占的所有物であり続けることを承認することになります。

## コード例

ソフトウェアのコーディングやコードスニペットはすべて、例です。それらは、本稼働使用のためのものではありません。コード例は、構文や表現規則を分かりやすく説明し視覚化することのみを目的としています。SAP は、コード例の正確性や完全性について保証しません。SAP は、コード例の使用により発生した過誤や損害が、SAP の重大な過失又は意図的な違法行為が原因で発生したものでない限り、損害に対して一切責任を負いません。

## 偏見のない表現

SAP は、ダイバーシティ & インクルージョンの文化を支持しています。SAP の文書では、可能な限り、文化、民族性、ジェンダー、および障がいの有無を問わず、すべての人々に対する偏見を伴わない表現を採用します。





© 2024 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved.

本書のいかなる部分も、SAP SE 又は SAP の関連会社の明示的な許可なくして、いかなる形式でも、いかなる目的にも複製又は伝送することはできません。本書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。

SAP SE 及びその頒布業者によって販売される一部のソフトウェア製品には、他のソフトウェアベンダーの専有ソフトウェアコンポーネントが含まれています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。

これらの文書は、いかなる種類の表明又は保証もなしで、情報提供のみを目的として、SAP SE 又はその関連会社によって提供され、SAP 又はその関連会社は、これら文書に関する誤記脱漏等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP 又はその関連会社の製品及びサービスに対する唯一の保証は、当該製品及びサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。

本書に記載される SAP 及びその他の SAP の製品やサービス、並びにそれらの個々のロゴは、ドイツ及びその他の国における SAP SE（又は SAP の関連会社）の商標若しくは登録商標です。本書に記載されたその他のすべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。

商標に関する詳細の情報や通知については、<https://www.sap.com/japan/about/legal/trademark.html> をご覧ください。